学校番号	Ｔ０２０６

令和２年度　家庭科

教科	家庭	科目	家庭総合	単位数	２単位	年次	１年次
使用教科書	新家庭総合 パートナーシップでつくる未来　（実教出版）						
副教材等	無し						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

国際化、情報化、科学技術の発展、環境問題、少子高齢社会の到来など、社会の状況が大きく変化する中で、あなたはどのような人生観、生活観、価値観をもって生きていこうと考えていますか。

この科目では、生活に関する知識や技術を身につける一方で、それらのもつ意味や在り方を人の一生との関わりの中で考えていきます。また、生活者としての立場から実際の生活を見つめ、課題を発見し、改善していけるような実践的な力を養うことを目的としています。知識や技術をしっかり身に着けるとともに、自分の生活をより良いものにつくりかえていく楽しさを感じてください。そして、「自分らしいライフスタイル」を探求し、より主体的に人生を送っていけるよう、学習に取り組んでください。

２　学習の到達目標

人の一生を生涯発達の視点で総合的にとらえ、家族・家庭の意義、家族・家庭と社会との関わりについて理解させ、生活課題を解決するために必要な知識と技術を習得し、家庭生活の充実向上をはかる力と実践的な態度を育てる。

３　学習評価（評価規準と評価方法）

観点	a.関心・意欲・態度	b.思考・判断・表現	c.技能	d.知識・理解
観点の趣旨	人の一生、家族・家庭、子どもや高齢者の生活、それらと社会とのかかわりについて関心をもち、その充実・向上をめざして意欲的にとりくむとともに、実践的な態度を身に付けている。	人の一生と家族・家庭及び福祉などについて生活の充実向上を図るための課題を見出し、その解決をめざして思考を深め、適切に判断し、工夫し創造する能力を身に付けている。	人の一生と家族・家庭及び福祉、消費生活などに関する基礎的・基本的な技術を身に付けている。	人の一生と家族・家庭及び福祉、消費生活などに関する基礎的・基本的な知識を身に付ける。
評価方法	学習状況の観察 ワークプリントの記述 実習作品 相互評価・自己評価 等	学習状況の観察 ワークプリントの記述 実習作品 定期考査の結果 相互評価・自己評価 等	学習状況の観察 ワークプリントの記述 実習作品 定期考査の結果 相互評価・自己評価 等	学習状況の観察 ワークプリントの記述 定期考査の結果 等

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	内容	単元（題材）	学習内容	主な評価の観点				単元（題材）の評価規準	評価方法
				a	b	c	d		
前期	自分らしい生き方と家族	○家庭科の学び方 ○自分を見つめる ○自立した生き方 ○共に生きる家族 ○家族に関する法律 ○私たちの生活を支える労働と生活時間 ○ホームプロジェクト	・学習の意義や内容、学習、評価方法 ・自己を知る ・生涯発達の視点 ・青年期をどう生きるか ・家族法の理念と背景 ・多様化する就業形態 ・将来の生活を展望する ・ホームプロジェクトと学校家庭クラブ活動について説明	○ ○ ○ ◎ ○ ○	○ ○ ○ ○ ◎	◎ ○	○ ○ ○ ○ ◎ ○ ◎	a:現在の自分のこと、将来の生活設計を考えることについて、意欲を持ってとりくもうとしている。 b: 自分の近い将来についてのキャリアや生活についての設計を考え、ワークなどを用いてそれらを具体的に描いていくことができる。 c: 自分自身について考えるワークシートや将来についてのレポートなどを通して、自分や、人の一生についての考えをまとめることができる。 d: 青年期の課題である自立や男女の平等と相互の協力などについて理解できる。 ホームプロジェクトと学校家庭クラブ活動について理解できる。	・受講状況 ・学習意欲 ・実習取組 ・プリント ・定期考査

	子どもとかかわる	○子どもを知る ○発達のすばらしさ ○子どもの生活 ○親になることを考えよう ○ホームプロジェクト	・すこやかな育ちのために ・人の発達と保育 ・子どもの成長と生活 ・子どもを生み育てるということ ・ホームプロジェクト学習を計画し、夏季休業中に実践する。	◎ ○ ○ ○ ◎	○ ○ ◎ ○ ○	○ ◎ ○	○ ◎ ○ ○ ○	a:子どもの発達と保育について興味・関心を持ち、実践的・体験的な活動を通して意欲的に学習に取り組もうとしている。 ホームプロジェクトに興味・関心を持ち、実践的・体験的な活動を通して意欲的に計画を立てている。 b: 抱っこ人形を使った体験学習などから、目的の設定、学習中の判断や学習後の考察などをまとめることができ、また、体験学習の成果や反省などについて、レポートを通して表現することができる。 c:子どもと適切に関わることができたり子どもの健やかな発達を支える技術を身に付けている。 d: 生命の尊さ、子育ての意義について理解し、子どもの心身の発達や子どもの生活についての知識を身につけている。	・受講状況 ・学習意欲 ・実習取組 ・プリント ・レポート ・定期考査

後期	子どもとかかわる	○すこやかに育つ環境 ○ホームプロジェクトの提出	・子どもの権利と福祉 ・ホームプロジェクトの提出内容をもとに発表の準備	○ ○	◎ ◎	○	○	a: 子どもをとりまく状況について、現状を知り、その課題を見つけ、解決に向けて考えようとしている。 b: 子どもの心身の発達、現在の子どもを取り巻く状況や子育ての環境について、課題を見つけ、解決への考えをまとめることができる。 ホームプロジェクトの内容が問題解決学習となっている。 c: 子どもの生活やとりまく環境、また、現在の子育ての環境や地域社会や国の支援策や課題などについて、情報を収集し、まとめることができる。 d: 子どもの発達段階において、子どもをとりまく人とのかかわり、地域環境・社会環境の重要性、子どもの福祉について理解できる。	・受講状況 ・学習意欲 ・プリント ・レポート ・定期考査

	高齢者とかかわる	○高齢社会に生きる私たちの暮らし ○高齢者を知る ○高齢者の自立のために私たちができること ○ホームプロジェクトの発表	・高齢社会の状況 ・高齢者の心身の変化 ・高齢者の課題 ・介護の心と介護技術 ・高齢者の生活を支える介護 ・ホームプロジェクトの発表・相互評価	○ ○ ○ ○	○ ○ ◎ ◎	 ◎ ○	◎ ○ ○ ○	a:高齢社会の現状、高齢者の心身の特徴や生活について積極的に知り、高齢者とかかわろうとしている。 b: 高齢社会の現状や高齢者の生活を知ることにより、高齢者の自立した生活とは何か、自分の考えをまとめることができる。 自分の生活を見直し、自分自身の生活能力を高めることにつながるよう実践したホームプロジェクトの発表内容になっている。 c: 日常生活の基本的な介助の方法や高齢者に対する接し方等を、インスタントシニア体験実習を通して身につけることができる。 d: 高齢社会の現状や高齢者の心身の特徴について理解している。	・受講状況 ・学習意欲 ・実習取組 ・プリント ・レポート ・定期考査

	消費者として自立する	○消費行動と意思決定 ○社会の変化と消費生活 ○ライフステージと経済計 ○持続可能な社会環境と生活	・適切な選択をするために ・適切な契約 ・人生設計と経済計画	○ ◎ ○ ○	○ ○ ◎ ○		◎ ○ ○ ◎	a:自分が一消費者であることを自覚し、物・サービスの購入のあり方や、消費行動、消費と環境とのかかわりについて積極的に理解しようとする。 b: 消費行動における意思決定の過程について、具体的な事例を通して主体的に考え、判断することができる。 c: さまざまな情報を収集しながら、自分の消費行動について検証することができる。 d: 消費行動における意思決定の過程とその重要性について理解でき、また契約についての知識を身につけている。 e.環境への付加を減らした環境型社会、地球温暖化に対応した炭素社会に向け、私たちの身近な事例を学びながら、生活においてどのような取り組みをすべきかを考え、判断し実行に移す事が出来る。	・受講状況 ・学習意欲 ・プリント ・定期考査

※表中の観点について　a：関心・意欲・態度　　b：思考・判断・表現
c：技能　　d：知識・理解

※原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について、優先度の高いものから、◎、○、空欄として示している。